

事業所名

一般社団法人 おおすみ笑顔のわ
えすぺらんさ

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

R7

年

4月

1日

法人（事業所）理念		Fact smile as life ～ほんとうの笑顔がある人生を送るために～ 障がいがあっても子どもとその家族が住み慣れた大隅の地で安心して笑顔で生活を継続していくために貢献します							
支援方針		①遊ぶ！楽しむ！（子供たちのやりたい、遊びたい気持ちを大切に育みます。） ②挑戦（できない事を考えるのではなく、どうやったらできるかを考えて、新たな可能性にチャレンジします。） ③専門的支援（医療的ケアを受けながらも、様々な体験や活動に参加できるように支援します。） ④介護負担軽減（日々の介護疲れを軽減し、在宅で少しでもゆっくり過ごしてもらえるように支援します。） ⑤希望のわ！（ご家族、地域社会との繋がりを大切にして、子供たちやご家族が希望を持って安心して過ごせるような場所づくり、地域づくりに貢献します。）							
営業時間		8 時	30 分	から	17 時	30 分	まで	送迎実施の有無	送迎あり（相談により調整いたします）
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	一日を通して、睡眠、食事、排泄などの基本的な生活リズムを身につけられるようサポートします。また、食事、衣類の着脱、排泄、歯磨きなどの基本的技能を一人一人の生活習慣に合わせて獲得できるようサポートしていきます。連絡帳や保護者と情報をこまめに共有しながら健康状態を把握し、安心して安全に過ごすことができるよう支援します。							
	運動・感覚	這う、四つ這い、寝返り、介助座位、立位、電動移動機器や歩行器を利用し動く経験など一人一人に合わせた運動を日々繰り返し行うことで姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善や習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図ります。運動遊びやサーキット、ボール遊び、音楽、製作、感覚あそび（ビニール、新聞、ボディペイント、スライムなど）を通して、運動や指先の巧緻性を目指し、苦手な感覚は環境を調整しながら保有する感覚を十分に活用できるようサポートしていきます。							
	認知・行動	ふれあい遊びや運動遊びを通して、ボディイメージの出来るようサポートしています。また、視覚や聴覚と触覚を協調しながら活動に取り組めるよう姿勢など工夫し認知機能の発達を促しています。							
	言語 コミュニケーション	一日の流れを視覚的に確認できるよう取り組むことで、活動の見通しを持って行動できるよう支援しています。また、絵カードや指差し、身振りや表情の変化、発声など、お子さんが自ら気持ちを発信し、コミュニケーションを楽しめるようお子さんの特性や発達段階に沿った支援をしていきます。							
	人間関係 社会性	職員との信頼関係を築くため、子どもたちの好きな事をみつけ、一緒に遊びを楽しむことを通して関係性を育んでいきます。お友だちとの関わりも楽しめるよう活動を組み立て、社会性を身につけられるよう支援していきます。							
家族支援		本人の意思（発声や動作、表情など）が理解しやすくなるように、行事などを通して活動と一緒に介入し指導や助言を行います。育児やきょうだい児に関する不安、困りごとに対しての相談を随時行っています。保護者同士の交流する機会を提供し、情報の共有や困りごとを共有できる機会を作っていきます。				移行支援		就園や就学に向けて、不安に感じる事への解決方法を一緒に考えながら次の段階にスムーズに移行できるよう連携を図っています。保護者の意向を確認しながら、必要な関係機関との連携を密に図り、情報を共有しています。	
地域支援・地域連携		月に1回保育園との交流を実施。医ケア児部会への参加。子ども部会への参加。相談支援事業所や他の福祉サービスとの連携にも努めています。外出活動を行い、地域の方々に特性を理解してもらえる機会を作ります。				職員の質の向上		月に1回、職員研修を実施。ヒヤリハット事例の話し合い。避難訓練・防災訓練・救命救急講習の実施。権利擁護・虐待防止研修。事例検討を行い、支援方法の振り返り実施。専門性を深めるための研修参加後、職員への周知を実施。年に2回、自己評価及び面談を通して職員の質の向上を図っています。	
主な行事等		季節に合わせた活動（節分、ひな祭り、バレンタイン、父の日、母の日、敬老の日製作、クリスマス会、ハロウィン、水遊び、芋ほり）、親子クッキング、親子遠足、海遊び、運動会、もちつき、大きくなったお祝い会、保護者会							